

## 実践研究会を開催!

平成28年2月27日(土)第7回目の実践研究会を行いました。今年度も、北方西小学校ひまわり教室をお借りして行いました。今回のテーマは、「**道德教育の原点を求めて!**」です。発表者は、瑞穂市を代表して本田小学校・宮島紀博教諭、北方町を代表して北方小学校・清野麻子教諭です。今回は、実践発表者の所属長・伊藤清美校長、河村正志校長、大堀千保子北方町立幼稚園長はじめ、多くの現職の先生方など、ご多用の中32名の方々にご参加いただきました。



伊藤清美校長 河村正志校長



10時30分、志甫庄司副会長(根尾小)の司会で始まりしました。参加者全員の自己紹介前に、森山政紀会長の挨拶です。「まずもって、先にお亡くなりになりました北方町長・故室戸英夫様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。そして、ご参加の皆様へ厚くお礼申し上げます。平成30年度から道德が「教科」となることで、道德教育に関心が高まるこの時期、道德教育の原点である「**道德の時間=授業**」について改めて考えたいと思いました。関係者のご紹介により子どもたちと真摯な実践をされているお二人の先生方をお迎えできました。その授業を基に互いに学び合いたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。」(参考資料:岐阜新聞「心が育つまち」4)

平成27年度 実践研究会

## 主体的に自己を見つめる道德の時間の在り方

～主題構成表をもとにした発問の工夫を通して～

発表者:瑞穂市立本田小学校 宮島 紀博 教諭

「宮島先生は、本田小3年目。学んできたことを活かして新しい学校でも活躍して欲しい若手の先生です。」という伊藤校長先生の願いを受けて、内容項目1-(4)「**過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。**」『「正直」50円分』の資料を用いた実践を詳しく発表し



てくださいました。まず、本田小の主題構成表を基に、分析した内容をプレゼンにて紹介されました。その結果、「**どんなことを考えたから50円を返しに行ったのか(第一発問)**」「**どうして返しに行くべきとわかっているのに、返すことができなかったのか(中心発問)**」「**自分が得しているのに、どうして困ったような顔をしているの(深めの発問)**」を構成されました。子どもたちも活発で素直な反応があり、「**正直な行いで気持ちがあすっきりする**」ことを感じ取りました。「**道德シート**」で授業前と後に「**自己みつめ**」をしていることも、心を育てることに繋がっています。「**安心して自分の思いが出せ、真剣に聞いてくれる学級の仲間がいる**」学級を基盤に、学級担任の温かい見届け・励ましが活かしている授業実践でありました。

# 自己のよさを再発見する道徳教育

発表者：北方町立北方小学校 清野 麻子 教諭

「本校で一番明るく素敵な学級をつくっている先生です。」と、河村校長先生が紹介してくださいました。清野先生のテーマ「自己のよさを再発見する道徳教育」にその教育観がよく表れていました。

授業は、内容項目2-(2)「相手のことを思いやり、進んで親切にする。」3年生です。資料『拾ったりんご』は、歩道橋でおばあさんが落としてしまったりんごを面白半分拾ったら、それが思いの外親切な子としてほめられたという内容。

「新聞をランドセルに入れた時」、「夢中でりんごを拾った時」動作化で、「おばあさんがとてもうれしかったと知った時」、「始めと最後の『うれしい』を比べると…」と発問しながら、「親切にすることは、自分にとっても、相手にとっても気持ちがよくて嬉しくなること」を感じとらせることができました。

清野先生は、子どものためにはあらゆる努力を惜しまない方の方です。「心のノート」に自己の振り返りをさせると、丁寧に赤ペンで励ましと共感を記されています。掲示「学んだ足跡」で学級の価値付けや方向付けを明示しています。子どもたちの良いところを見つけ、ほめる視点が多様で確かです。北方小で大切にしている「机列表」では、アンケートを基に個々の違いを類別・抽出記入しています。その子が授業で少しでも輝くようにするための努力です。そこに教育愛があり、それを子どもたちが感じるからこそ、素敵な学級集団がつけられてきたと推察したものでした。

実践している現場の先生方が多いこともあり、質問や感想もたくさ



（会場の様子）質の高い実践発表を熱心に聴き入る参加者の皆さん

ん出ました。「よその学校に出てみて、道徳で今まで当たり前に行っていた意味や良さがわかりました。」「文科省資料と教科書会社の資料では書きぶりが違っていることがあるので気を付けたい。」等々、志甫副会長の適切な司会のもと、含蓄のある意見交流ができました。

林 明夫顧問から指導助言をいただきました。

「お二人の先生方がよくやっているなど、改めてよく分かる発表でした。（中略）道徳の授業に慣れてきている学級ならば、すぐ中心発問に入って話し合う時間を多くとる方法もあります。また、例えば『助ける、助けない』という課題意識をもって資料を活用する「問題解決的な学習」も紹介されています。（中略）皆さんの力で基礎・基本を大切に、新しい授業を進めていってください。」



最後に、神谷 肇副会長から結びの挨拶があり、昨夏の県教育者研究会岐阜本巣地区大会のお礼と本会が7年目を迎えるまでの歩みを述べられました。

これにて平成27年度の行事も無事終了しました。改めまして関係各位に深く感謝申し上げます。